（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	弊社に男性も女性も年齢層は幅広く在籍しておりますが、差別がない体制の構築を行っております。 茅野市のはつらつ事業所にも認定されております。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを行わないよう就業規則に明記しています。社内でいつでも相談できる体制を構築しております。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	過度な長時間労働是正のため労務管理を徹底し、有給休暇の適切な取得等、法令に即した弊社の労務規定の下、取り組んでおります。 【予定】ノー残業デーの制定についても検討中です。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	弊社には外国人労働者がおりません。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	作業前にKY(危険予知)活動を実施するほか、各種安全大会に参加することで、社員の事故防止意識を高めております。また、弊社では創業以来、重大な労働災害は発生しておりません。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルス対策促進員の資格を持つ専門家に来ていただき、社内でメンタルヘルス対策の講習会を実施しております。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	多様ながそれぞれの経験や生活体系に合わせて活躍していただいています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	年に数回、メーカーをお呼びして、新製品や新技術に関する社内講習会や中堅社員を対象とした人材育成に関する社内講習会を開催しています。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	当社では全社員が正社員としての雇用をしています。 また、長野県の「社員の子育て応援宣言」に登録しています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】健康経営2020に申請中です。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	エコアクション21の取り組みの中で、12種類に分別し、保管場所にて適切に管理を行っています。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	エネルギー使用量については、月ごと電気、ガソリン使用量をまとめております。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	温室効果ガス排出抑制の取り組みとして、事務所内にLED照明を導入したほか、車を極力乗り合いで使用する等温室効果ガスの排出抑制に取り組んでおります。							7.2 7.3						12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害物質が含まれている機器を取り扱う際には事前にお客様に有害物質が含まれていることをお伝えし、適切な処理･取扱い方法についてご相談を行っております。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に優しい素材で出来た材料を積極的に採用する等生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないような取り組みを行っております。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	弊社では、廃棄物を12種類に分別し、リサイクルを実施しているほか、端材で使用可能なものは積極的に使用しております。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	日頃から蛇口の閉め忘れ等の無駄遣いを防止の徹底を行っているほか、水栓やトイレは節水タイプのものへ交換し、より一層の水資源の無駄遣い防止に取り組んでいます。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21を取得し、日々の業務において意識して活動しています。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	エコアクション21の活動状況を社内の掲示板で公表し、ご来社いただいた方に確認していただけるようになっております。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	社屋や倉庫の屋上に太陽光パネルを設置し、電力の発電を実施しております。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	車両等は極力乗り合いで行くなど、石油資源の使用量の抑制に努めています。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンスを遵守し適正な業務を行うよう、全社員に周知しています。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンスを遵守し適正な調達を行うよう、全社員に周知しています。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	設計図等の著作物の管理は、第3者へ流出させないようデータ管理を徹底するとともに、設計図を使用する事務所内へ第3者を立入禁止とし、知的財産の保護に取り組んでいます。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報については、独自のルールを設け、当該情報を必要とする社員以外には開示せず、厳重に管理しております。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社では米国金融規制改革法に基づく3TG(タンタル、タングステン、錫、金)の直接の取扱いはありません。万が一取扱製品で紛争鉱物の使用が発覚した場合は、取扱を見直します。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	協力業者の方々には当社の方針をご理解いただき、また適切な契約を結んでうえで作業に当たっていただいております。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	使用材料は、JISマークやPSEマークを取得した材料を基本とし、施工時は関連法規に則って施工を行っております。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001を取得しております。 施工後は社内検査員による社内検査を行い、独自の検査項目に基づき、検査を行っています。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	ごみを減らすよう、材料の無駄や過剰包装をなくすように努めています。また、グリーンマークの事務用品を積極的に購入するように努めております。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	お客様に省エネ機器や太陽光発電システム等のご提案を行っております。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	商工会議所主催の市民向けの展示会に参加し、地域方々とコミュニケーションをとることで、事業の影響を把握し、より地域のニーズに沿った事業となるよう改善を行っています。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	市民祭への協力や、市内の道路清掃など年間を通じて社会貢献活動を行っております。また高齢者住宅の電気設備の点検も実施しております。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	弊社の協力業者には、基本的に地元業者を活用しております。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念は明文化しており、社員一同毎月触れる機会を設け、共有しております。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンスの重要性について、朝礼で全社員へ伝え、共有しております。 【予定】コンプライアンス体制の構築は発展途上のため、今後整備する方針です。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	営業部門に担当者を任命し行っています。 【予定】社会のニーズや規模に応じて専門部署の創設も検討いたします。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	お客様とのコミュニケーションを大切するため、事前の打ち合わせを必ず行い、お客様のご要望に沿った施工を心がけております。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	【予定】リスクマネジメントのシステムの構築する方針です。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地元の公園の桜ライトアップ照明の寄贈や、駅前イルミネーションの計画・実施等電気設備工事業を営む者として地域社会が明るくなるような活動を実施しています。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】弊社にはBCP（事業継続計画）が未整備のため、今後整備を行う方針です。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がおります。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）